

# とてっぽ

学校教育目標

十勝野に立ち 不屈を目指す

たくましい人間 自ら学ぶ人間 心豊かな人間



学校 HP

帯広市立川西中学校

学校便り

第7号

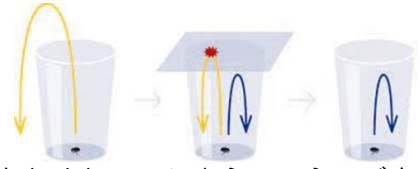
令和6年9月25日

校長 村上達也

## 環境が与える影響力（ノミの実験から考える）

校長 村上達也

全校集会で、次のようなノミの実験の話をしました、ノミを小さなガラスのコップに入れてフタをします。ノミは体長の150倍ものジャンプ力があるため、ジャンプするとフタにぶつかることになるので、ジャンプを繰り返しているうちに、コップの高さ以上は跳び上がらなくなるそうです。すると、フタを開けても外に出ることができなくなってしまうというのです。

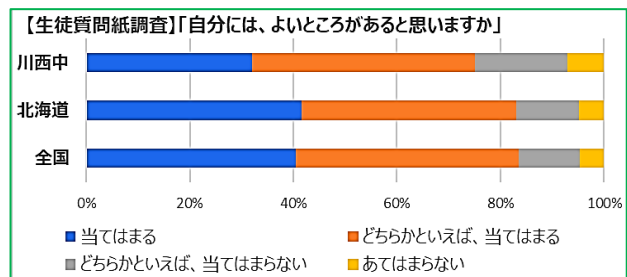


この実験から、力があるのに全力を出さないでいると、本当にそこまでの力になってしまうこと。自分の力を伸ばすためには、普段から全力で物事に取り組むことが大切になること。人間もこのノミと一緒に過去の体験や自分の「思い込み」が自分の行動を止めてしまうこと。この「コップのフタ」こそが、我々が「できない」と勝手に決めつけている「思い込み」であり、自分の能力にフタをしているのは自分自身であること。「環境」が与える影響力は大きいこと等を学び取ることができます。

この話を教育活動に生かすならば、ノミのジャンプ力が退化した要因となる「コップのフタ」が「本校の生徒にとって」は何になるかということを考える必要があります。私には「環境」という言葉が一番に思い浮かびます。自然環境、生活環境、学習環境、人的環境等の様々な環境がありますが、人間の場合は、様々な環境が複雑に関わり合いながら生活や成長に影響を与えています。

様々な環境の中でも学校では、特に次の二つが大切になります。一つめは、学校が集団生活の場であることから、**心理的安全性が確保できる環境**です。安心できる環境であれば、生徒は失敗を恐れずに伸び伸びと活動し成長につながります。二つめは、学校が学習活動の場であることから、**学ぶ楽しさを感じながら主体的に学びに向かうことができる環境**です。生徒は楽しいことが大好きです。学ぶことが楽しければ、意欲が高まり挑戦する力となります。学ぶ楽しさ（本当の楽しさ）とともに取り組んだ結果として成長を実感できれば、次の目標や更なる意欲につながって継続して挑戦し続けるようになります。伸び伸びと夢中になって、様々なことに挑戦する生徒の姿を目指し、この二つの「環境」の充実を図ることが我々の役割と考えられます。

さて、今年度4月に実施した全国学力・学習状況調査（3年生が国語・数学を実施）ですが、国語は「言語に関する事項にかかわる領域」に成果が見られ、全国や全道の平均正答率を上回り、数学は「データの活用に関わる領域」に成果が見られ、全国や全道の平均正答率を大きく上回る結果を得ることができました。しかし、生徒質問紙調査によると、グラフのように「自分には、よいところがあると思いますか」に「当てはまる・どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、全国・全道と比較して低い傾向にあります。成功体験を積み重ね、学習への意欲や良好な友人関係、進路目標の明確化につながる「自己肯定感」や「自己有用感」の醸成が課題といえます。



これらの結果を踏まえ、本校では、検証改善サイクルの確立に向け、生徒の学習の傾向や生活の状況を把握・分析し、学習指導の改善や学力向上の取組、自己肯定感や自己有用感の向上に向けた「環境」の整備を継続して進めて参ります。（裏面に続きます）

実は、ノミの実験には続きがあります。この跳べなくなってしまったノミを再び跳べるようにする方法が一つだけあるそうです。それは「自分以上に跳びはねるノミ(新しいノミ)」の姿を見せることです。つまり、「新しいノミ」をコップに入れ、そのノミが大きく跳びはねる様子を見せるのです。すると、それまでコップの高さしか跳べなくなっていたノミが再び大ジャンプできるようになるというのです。

本校では、今週末から文化祭に向けた取組が本格化します。日常の学習活動の成果の発表(合唱・メッセージ)が主となりますが、学級発表や生徒会企画、有志による発表も予定しています。自分自身が「新しいノミ」となって創造力や自己表現力を発揮する主体的な態度を育み、互いを認め合う中で「自己肯定感」や「自己有用感」の向上につながる「環境」整備を進めて参ります。保護者・地域の皆様にはご来校いただき、ご観覧くださいませようお願いいたします。



10月5日(土)開催

## 校内意見発表大会 R6.9.18



9月18日(水)、川西小学校の5・6年生を迎え、校内意見発表委大会を実施しました。学級予選により学級代表となった代表生徒が、中学生の視点から自分の考えや体験を発表しました。これからは、AIをうまく使いながら未来を創り出す時代となりますが、そのAIをうまく使うには、多面的な視野、柔軟な発想、物事を論理的に考える力、そして、自分の考えを正しく伝える力が必要となるそうです。その意味でも、意見発表文を書いて、自分の思いを伝える力は未来を生きる上でとても大切です。最優秀賞に輝いた3年生佐藤寧音さんは、11月9日(土)に行われる「帯広市中学生からのメッセージ」で学校代表として発表することになります。しっかりと自分の思いを伝えてほしいと思います。

## 10月の行事予定

- 1(火)文化祭特別時間割 街頭指導 校長会役員研修会
- 2(水)文化祭特別時間割
- 3(木)文化祭特別時間割 研究所員全体研修
- 4(金)文化祭特別時間割 帯広農業高校学校体験入学
- 5(土)第78回文化祭
- 7(月)振替休日 帯広農業高校学校体験入学
- 8(火)モップ交換 校長会議
- 10(木)3年学力テスト総合B 2年札幌コンサート ※学力テスト日課 教頭会議 研究所員全体研修
- 11(金)通知表発行 ALT来校 校務運営委員会 管内私立高校入試説明会 帯広南商業高校体験入学
- 12(土)ソフトテニスインドア大会十勝予選 白樺学園OS
- 14(月)スポーツの日
- 15(火)生徒会専門委員会 分掌部会 帯広工業高校体験入学
- 16(水)3年おび学「帯広市の台所事情」(市)英語スピーチ暗唱コンテスト ナウマン号 帯広大谷学校見学会
- 17(木)3年二者面談 英検I B A
- 18(金)3年二者面談 帯広北高OS
- 19(土)十)秋季バレーボール ソフトテニス1年生王座大会
- 20(日)十)秋季バレーボール
- 21(月)職員会議
- 22(火)3年二者面談 C組宿泊学習 帯広大谷学校見学会
- 23(水)3年二者面談 C組宿泊学習 PTA役員会
- 24(木)校内研修日 ※5時間授業
- 25(金)3年二者面談 認証式・生徒総会 ALT来校
- 28(月)3年二者面談 2年職業講話 避難訓練週間
- 29(火)進路委員会 校長会役員研修会
- 30(水)花壇後片付け・落葉清掃
- 31(木)1・2年教育相談 教育研究所員全体研修

行動開始に完璧なタイミングはありません。  
「すぐ始めること」  
「毎日続けること」  
半年後には大きな成果になっています。

中学校の3年間は、自分の心と頭と体を精一杯使って、「本当の楽しさ」を知る大切な時間  
R6年度 目指す姿: Well-being 帯広かわにし「自立・貢献」 重点目標: 川西中らしい成長ストーリーの創造